

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.17)

◎ PCB廃棄物の受入状況について

PCB廃棄物の受入状況は平成18年10月から平成21年3月末現在で、トランス類が712台、コンデンサ類は12,079台、PCB油が182缶です。これは大阪市内で保管中のPCB廃棄物に対して、トランス類が約50%、コンデンサ類が約82%となります（対早期登録等データ比）。

4日～6日は 丘産直内からの搬入を予定しています

◎ 大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会の開催について

3月25日、此花会館において、第13回大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会（大阪市主催）が開催され、大阪市からは周辺環境モニタリング結果について説明があり、弊社からは、大阪PCB廃棄物処理施設の操業状況、内部技術評価結果、トラブルについてご報告しました。各委員から、トラブル防止対策等について貴重なご意見をいただき、それらを踏まえて再発防止に取り組みます。



◎ PCB廃棄物処理事業検討委員会及び大阪事業部会の開催について

3月23日、PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会（JESCO主催、主査 酒井伸一 京都大学環境保全センター教授）をホテルグランヴィア大阪で開催いたしました。今回の事業部会においては、大阪PCB廃棄物処理施設の操業状況、内部技術評価結果、トラブルについてご報告しました。各委員から、安全操業等に関する専門的なご意見をいただき、今後とも安全・確実な処理に反映してまいります。



また、3月31日、事業検討委員会（委員長 永田勝也 早稲田大学院環境・エネルギー研究科教授）をホテルアジュール竹芝（東京）で開催いたしました。JESCOから平成20年度における各部会の取り組み状況、各事業の進捗状況等並びに「大型トランスに係る現場解体作業について」報告書の説明を行い本委員会です承されました。



◎ トラブル報告について

(1) オンラインモニタリング装置の故障について

1月16日、西棟のオンラインモニタリング装置（PCB濃度ガス自動連続測定器）3台のうち1台が測定不能になりました。直ちに、排気系をモニタリングできなくなった工程の作業を停止するとともに、当該排気系のオフライン測定をした結果、PCBは検出されませんでした。その後、故障した測定ラインは、他のオンラインモニタリング機器で監視できるように切替を行いました。故障の原因は、トランス油蒸留設備点検のために、系内を窒素置換した際にオイルスクラバー（PCB除去設備）中のオイルの一部がサンプリング管を通じて測定装置に混入したためです。現在、再発防止のために、非定常作業を含めた作業マニュアルの見直し・安全管理体制の整備等に取り組んでいます。

(2) 廃アルカリ水の誤払出について

1月29日、施設内で発生した洗浄アルカリ水のドラム缶（PCBが含まれていないもの）29缶を



産業廃棄物として払出しました。しかし、その内の2缶にPCBが含まれた油（約30mg/kg）が入っていることが判明したので早速回収しました。原因は、ドラム缶から分析用のサンプルを取るために蓋を開閉した際に、手違いからドラム缶の蓋を表示と異なる内容物の入った本体に取り付けたものと思われます。今回は、PCBの環境中への拡散につながらなかったものの、あってはならない重大な問題であり、現在、再発防止のために、多重のチェック機能を備えた「運転廃棄物のドラム缶管理・払い出し」についてマニュアルの作成を行い、ヒューマンエラーの防止の強化を図っています。

◎ 安全教育について

操業後3年目を迎え、今年1月相次いで発生したトラブルは、作業従事者のヒューマンエラーに起因するものであり、再発防止にむけた取り組みを強化するために全社員を対象に2月24日、3月12日に安全教育を実施しました。

安全教育では、オンラインモニタリングの重要性や運転廃棄物（ドラム缶）の管理方法の徹底等について行いました。今後とも継続して教育を実施し安全操業に向けた取り組みを強化します。



◎ 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングの結果について

施設からの排気・排水・騒音・振動・悪臭について外部分析機関により測定を行った結果は、ベンゼン・塩化水素の一部を除いて自主管理目標値未満でした。なお、ベンゼン等については、排気処理用活性炭等の交換を行い改善を図りました。

また、周辺大気環境中におけるPCB・ダイオキシン類を、事業所敷地内及び事業地南側の2箇所において年4回（春・夏・秋・冬）1週間連続測定した結果は、いずれも環境保全目標値未満でした。今後とも継続的な測定を実施します。

項目	単位	事業所敷地内	事業地南側	環境保全目標値
PCB濃度	ng/m ³	0.78	0.48	500
ダイオキシン類濃度	pg-TEQ/m ³	0.075	0.066	0.6

（周辺環境モニタリング結果）

◎ 情報公開ルーム設備案内について



施設見学者は、平成21年3月末現在で870団体／6,562名となっております。

西棟1階の情報公開ルームには、施設の全貌を見ていただく為の3DCG映像（3次元立体映像）があります。処理施設の中は、レベル管理をしているので入れませんが、この3DCGを通して見学の皆さまに実際に処理施設の中にいる感覚を味わっていただけるもので、自由にご覧になることが可能です。

☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
- ・予約見学・1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

【問い合わせ】 日本環境安全事業（株）大阪事業所
TEL：06-6468-0575
ホームページ：http://www.jesconet.co.jp



洲男（しまお）



舞子（まいこ）

☆編集後記☆

操業を開始して2年半が経過しましたが、その間、PCB処理はおおむね順調に進んでおり、処理対象区域も大阪市から近畿2府4県へと拡大しています。しかし、今年1月に発生したトラブルは、ヒューマンエラーに起因するものであり、その原因を取り除くとともに、職員一同、初心に戻り、PCB処理をするという使命感を持ち、安全・確実に処理事業を進めていく決意でありますので、皆様方のご理解をお願いします。



☆べん蔵



【発行】 日本環境安全事業株式会社
大阪事業所総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575
// 営業課（弁天事務所） 06-6575-5575